名古屋産業大学　教務課

教職課程履修カルテについての諸注意

（1） 履修カルテの作成と保管

教員免許取得希望者は、原則として入学（１年）時より履修カルテを作成し、教員免許申請するまでの教職関連事項を記録する。

① 履修カルテ①は、教職・教科科目等の履修状況及び評価等記録を入力する。
② 履修カルテ②は、教職に関する自己評価関係の入力を入力する。
③ 履修カルテは学内サーバ内にてデータ保管し、各学年のオリエンテーション時等に入力する。

（2） 履修カルテ①入力上の注意事項（履修要覧 教職関係参照）

① 年度始めの在籍学年のオリエンテーション時に履修カルテの該当部分を入力する。
② １．教職に関する科目欄は、修得年度、教員名、評価、具体的な傾向・特徴を翌年度のオリエンテーション時に入力する。
③ ２．66条の6の科目欄の「日本国憲法」を必ず履修する。
④ ２．66条の6の科目欄の「健康と運動の科学」を必ず履修する。
⑤ ２．66条の6の科目欄の「イングリッシュコミュニケーションⅠ・Ⅱ」を必ず履修する。
⑥ ２．66条の6の科目欄の「文書情報リテラシー」・「数値情報リテラシー」「プレゼンテーション技法」のうち１つを必ず履修する。
⑦ ３．教科に関する科目欄は、修得年度、教員名、評価、具体的な特徴等を次学年度のオリエンテーション時に入力する。
⑧ ４．教職に関する学外実習等の欄は、３年次の夏から秋にかけて実施されるので、４年次のオリエンテーション時に入力する。

（3）履修カルテ②入力上の注意事項（履修要覧 教職関係参照）

① 年度始めの在籍学年のオリエンテーション時に履修カルテの該当部分を入力する。
② 教員免許取得希望種類を丸で囲む。
ア 自己評価年次欄の（ ・ ）は、入力した日付を入力する。 例 4月4日のオリエンテーション時であれば （4・4）と入力
イ 自己評価欄は、該当すると思う評価の数字を○で囲む。
５…非常に良くできている。 ４…良くできている。 ３…普通にできている。 ２…ほとんどできていない。 １…全くできていない。
③（2）「教職を目指す上で課題と考えている」項目欄は各年度始めのオリエンテーション時に目標・課題等を箇条書きする。
目標に対しての結果については、翌年度のオリエンテーション時に入力する。
④（3）ボランティア・学外活動の記録欄は該当事項があるときに随時入力する。
⑤（4）教育実習の記録欄は、「教職実践演習」の時間に入力する。

（4）履修カルテの留意事項

① 履修カルテは、教職課程オリエンテーションにて配布するので、適宜確認すること。
② 該当年度入力事項の一部を翌年度に入力する。自己保管の控に随時入力しておくと年度始め（オリエンテーション時）の作成が容易になる。

名古屋産業大学　現代ビジネス学部　現代ビジネス学科（通信教育課程）			
学籍番号		氏　　名	

名古屋産業大学教職課程　履修カルテ①　高校１種公民　＜教職関連科目の履修状況＞

１．教育の基礎的理解に関する科目等（２５単位必要）

区分	授業科目名	単位	修得年度	教員名	評価	履修者の具体的な傾向・特徴
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2				
教職の意義及び教員の役割・職務内容(ﾁｰﾑ学校運営への対応を含む。)	教職論	2				
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育経営論	2				
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2				
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	2				
教育課程の意義及び編成の方法(ｶﾘｷｭﾗﾑ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄを含む。)	教育課程論	2				
総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2				
教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法論(ICT活用の理論と方法を含む)	2				
生徒指導の理論及び方法 進路指導及びｷｬﾘｱ教育の理論及び方法	生徒・進路指導の理論と方法	2				
教育相談(ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談	2				
教育実習	事前・事後指導	1				
	教育実習	2				
教職実践演習	教職実践演習	2				

２．６６条の６による科目（各２単位以上必要）

区分	授業科目名		単位	修得年度	教員名	評価	履修者の具体的な傾向・特徴
日本国憲法	日本国憲法	2	2				
体育	健康と運動の科学	2	2				
外国語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	2	2				
	ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	2					
情報機器の操作	文書情報ﾘﾃﾗｼｰ	2	2				
	数値情報ﾘﾃﾗｼｰ	2					
	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ技法	2					

３．教科に関する科目（〇印は必修科目　３４単位必要）

区分	授業科目名	単位	修得年度	教員名	評価	履修者の具体的な傾向・特徴
「法律学（国際法を含む）、政治学（国際政治を含む。）」	〇法学総論	2				
	〇政治学	2				
	〇経済政策論	2				
	〇ＳＤＧｓ論	2				
「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	〇社会学	2				
	環境管理論	2				
	地域産業論	2				
	循環型社会論	2				
	環境保全と環境アセスメント	2				
	〇経済学入門	2				
	ミクロ経済学	2				
	マクロ経済学	2				
	地域経済論	2				
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	〇倫理学	2				
	〇道徳と宗教	2				
	〇心理学	2				
	社会心理学	2				
	産業・組織心理学	2				
各教科の指導法（情報通信技術の活用含む。）	〇社会科･公民科教育法Ⅰ	2				
	〇社会科･公民科教育法Ⅱ	2				

４．教職に関する学外実習・ボランティア経験等の状況

名古屋産業大学教職課程　履修カルテ②　＜自己評価シート＞

＜高校公民＞　※教員免許取得希望種類を〇で囲む

（１）必要な資質能力についての自己評価

必要な資質能力の指標			自己評価（記入日）		
項　目	項　目	指　標	2年次（　・　）	3年次（　・　）	4年次（　・　）
学校教育についての理解	教職の意義	教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	教育の理念・教育史・思想の理解	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	学校教育の社会的・制度的・経営的理解	学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
生徒についての理解	心理・発達論的な子ども理解	子ども理解のために必要な心理・発達論的基礎知識を習得していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	学習集団の形成	学習集団形成に必要な基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	子どもの状況に応じた対応	いじめ、不登校、特別支援教育などについて、個々の子どもの特性や状況に応じた対応の方法を理解していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
他者との協力	他者意見の受容	他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	保護者・地域との連携協力	保護者や地域との連携・協力の重要性を理解していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	共同授業実施	他者と共同して授業を企画・運営・展開することができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	他者との連携・協力	集団において、他者と協力して課題に取り組むことができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	役割遂行	集団において、率先して自らの役割を見つけたり、与えられた役割をきちんと果たすことができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
コミュニケーション	発達段階に対応したコミュニケーション	子どもたちの発達段階を考慮して、適切に接することができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	子どもに対する態度	気軽に子どもと顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	公平・受容的態度	子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	社会人としての基本	挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身についていますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
教科・教育課程に関する基礎知識・技能	社会科・公民科・商業科・情報科	これまで履修した各教科教育分野の科目の内容について理解していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	教科書・学習指導要領	教科書や中学校・高等学校の学習指導要領の内容を理解していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	教育課程の構成に関する基礎理論・知識	教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	道徳教育・特別活動	道徳教育・特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	総合的な学習の時間	「総合的な学習の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	情報通信技術の活用	情報通信技術の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	学習指導法	学習指導法に係る基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
教育実践	教材分析能力	教材を分析することができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	授業構想力	教材研究を生かした社会科･公民科･商業科･情報科の授業を構想し、子どもの反応を想定した指導案としてまとめることができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	教材開発力	教科書にある題材や単元等に応じた教材・資料を開発・作成することができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	授業展開力	子どもの反応を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	表現技術	板書や発問、的確な話し方など、授業を行う上での基本的な表現の技術を身に付けていますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	学級経営力	学級経営案を作成することができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
課題探求	課題認識と探求心	自己の課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を持っていますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	教育時事問題	いじめ、不登校、特別支援教育などの学校教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりに意見を持つことができていますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5

（２）教職を目指す上で課題と考えている事項

１年次の目標・課題　教育者としての資質・教科指導・生徒指導関係等について自己の目標・課題について書きなさい。	２年次の目標・課題　教育者としての資質・教科指導・生徒指導関係等について自己の目標・課題について書きなさい。
３年次の目標・課題　教育者としての資質・教科指導・生徒指導関係等について自己の目標・課題について書きなさい。	４年次の目標・課題　教育者としての資質・教科指導・生徒指導関係等について自己の目標・課題について書きなさい。

（３）ボランティア・学外活動の記録

（４）教育実習の記録　　年　　月　　日　～　　月　　日（於　　）